

水稻の生育状況について

今年の水稲の状況は、六月中旬以降の日照不足により、生育が緩慢なため茎数不足で経過し、八月十五日現在の作況指数でも県北部は「やや不良」と発表されるなど、発育不足が心配されていました。

しかし、八月の好天により気温が高めに推移してきたことや農家の適切な水管理が好影響を及ぼし、現時点ではおおむね平年並みに回復してきています。このまま順調に推移すると、平年作に近い作柄が期待されているところです。また、懸念されていた「いもち病」も山間部の一部で見られますが、適期防除の実施により平年より少ない状況にあります。

今後とも気象情報に十分注意し、適期刈り取りによる高品質でおいしい米の生産に向け指導を徹底していきたいと考えています。



高規格幹線道路

大館小坂線について

日本海沿岸東北自動車道の基本計画路線となっている大館小坂間については、年内に開かれる予定の国土開発幹線自動車道建設審議会に向け、事業の具体化を目指し鋭意取

り組んでいるところで。

一方、建設省から同路線の計画原案の提示を受けた県においては、去る六月二十日に、高規格幹線道路大館小坂線事業計画検討委員会を設置し、現地踏査を実施するなど慎重な審議を重ねておりました。その結果、「計画は妥当であり、速やかな事業促進が望ましい」との結論に至ったと伺っています。

建設省東北建設局は、同事業実施に際しての環境保全への対応姿勢を環境影響評価準備書にまとめ、八月一日から三十日までの期間、当市をはじめとする関係地域において住民の縦覧に供しました。それに対し、現在まで住民からの意見書は提出されていないとのことであります。

今後、基本計画路線から整備路線への格上げに向け、官民一体となり、地域をあげて積極的に運動を展開していきたいと考えています。

病原性大腸菌「O-157」の

感染予防対策について

市では従来、毎年六月から十月までの期間を食中毒事故多発警戒期間として、事故防止の徹底を図ってきました。しかし、今回は特にO-157の感染予防対策として次のようなことを実施しています。

まず、市民の皆さんに対しては、感染予防の注意事項を広報紙やちらしの毎戸配布で呼びかけるとともに、各種会議や健康相談などでの啓発を行ってきました。また、学校給食施設においては生野菜の使用禁止、時間をかけた食品の加熱処理、調理員の検便や、手・調理機材の消毒の徹底、食品保存のための器具機材の設置などを実施、プールにおいては塩素管理の徹底を実施しています。養護老人ホームと市立保育園においても学校給食施設と同様な措置を講じ、入所者などに対する衛生指導や健康管理にも細心の注意を



払っています。さらに市立病院においては、院内検査を実施できるようO-157の免疫血清を準備しました。

O-157の感染予防対策のため、市教育委員会に伝染病予防対策本部を設置し、調理職員などの研修会や会議などを開催して万全の体制で取り組んでいます。今後も油断することなく予防に努めてまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

その他の行政報告

- ▽廃棄物リサイクル対策室の設置について
- ▽都市計画道路大館駅・東大館線の整備に伴うJR東日本大館駅構内の路線使用の合意について
- ▽大館市防災行政無線の整備について
- ▽第4回「クリンピアあきた大会」について
- ▽平和祈念・戦没者慰霊式について
- ▽'96大館大文字まつりについて
- ▽降雨災害について
- ▽公共事業の発注及び進捗状況について